



[著者]

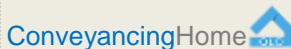
清水ヒデキ 豪援隊長
弁護士・移民コンサルタント
(MARN:9900985)

「オーストラリアから日本を援
けよう」と豪援隊発足。16歳
で単身オーストラリアに留
学。その後、ボンド大学を卒
業し、QLD州弁護士資格取
得。長年に渡り、日本人なら
びに日系企業、世界各国の
クライアントのコンサルタント
業務に従事。



インデックス

- 今月のジョーク 1
- 今月の名言
- 今月の視点
- 今月のコピペ
- 今月のジョーク 2
- 今月の雑学
- 今月の雑学
- 仕事納めのご挨拶



http://zoesangels.org/
Go オーストラリアグループ
は、Zoe's Angels
「Zoeの天使たち」を
支援しています。



弁護士 清水の

豪援隊かわら版 年末特集



今月のジョーク 其の巻 (ジョーク集より)

女 「見て。あの男、あんなブス連れて恥ずかしくないのかしら。」
男 「おい！ そんなこと大きな声でいうな！！ 俺のほうが恥ずかしいだろ！」
女 「ごめんなさい、気を付けるわ。」
男 「当たり前だ！ 俺のほうがブスを連れてるんだから。」



今月の名言 (名言集より)

We don't stop playing because we grow old, we grow old because we stop playing.

年をとったから遊ばなくなるのではない。遊ばなくなるから年をとるのだ。

George Bernard Shaw (バーナード・ショー)
1856-1950
アイルランドの劇作家、ノーベル文学賞受賞

今月の視点 - 年末こんなことがありました・・・

諸事情により、ここ数カ月お休みしていたニュースレターですが、年末ということで今月の視点を一挙公開させていただきます・・・というか、公開させてください。

10月

雨、また雨

10月のブリスベンは特に雨が多かったですね。しかも、一気に気温も下がってしまい、一時期の春の勢いが少し反れてしまいました。こんな天気のお話から始まるのも、それだけこの月は雨が続いたからですが。雨の話だけで、この月は終わってしまった感じです。

国会議員の二重国籍問題

ターンブル首相には、とても耳の痛いニュースがこの10月にはありました。それは、オーストラリア最高裁判所にて二重国籍でありながら議員活動をしていた7人の国会議員に対して、それが違憲である判断を下し、その結果ジョイス副総理をはじめとする5名が議員辞職となりました。わずか、1議席差で与党としたそのポジションを維持してきたターンブル政権ですが、この副首相の辞職にて、補選で今は完全にオーストラリア人となったジョイス氏が再選されるまでの数か月の間、政権運営並びに議会運営がしばらくは難しくなることとなります。ジョイス副首相に関しては、これ以上のオージーはいないくらいのオーストラリア人であっただけに、多重国籍を認める国における国籍の保有管理の難しさを逆に教えられた気がします。もし、これでジョイス氏が再選できなかつたら。。。ますます、これからのオーストラリアの政治には目を離せなくなります。

そんな時に困ったもので。。。

ターンブル首相が7人の議員の運命を決める最高裁判所の判決に対する対応を検討している最中、今度は雇用省大臣のキャッシュ女史があわよくば辞任を迫られる問題に直面することになりました。事の発端は、今月末にオーストラリア連邦警察によるオーストラリア労働組合の事務所へのガサ入れでした。そのガサ入れの正当性に関しても問われているところですが、なんと連邦警察よりも先にマスコミがカメラを持ってオーストラリア労組の事務所まで連邦警察の捜査官を待ち受けているのではないですか。通常、隠密に行わなければ情報隠滅等も行われてしまう大事な捜査の一環ですから、こうした情報が漏れてはまずいに決まっています。それが、どこかから情報がリークされ、ガサ入れに関してマスコミで大きく取り上げてもらおうことを狙いにした、意図的な情報操作であり、それがキャッシュ大臣も関与していたのではというのが、労働組合並びに野党労働党の考えです。国民の声も、今回はどちらかというとキャッシュ大臣ならびにターンブル首相には厳しいものになっています。ダットン移民相の活躍で、支持率をやっと回復するかに見えたターンブル政権ですが、またここにきて、一歩進んで二歩下がる状態のようです。

ダットン移民相

10月のもう一つの話は、やはり市民権取得を厳正にする改正案が上院にて棄却されたこと

でしょう。これにより、英語と永住期間に関するハードルを上げた改正案は一旦はお引き取りになった状態です。しかし、さすがはダットン移民相。そこは、持ち前の馬力で是が非でも、市民権取得に関しては厳しくしていくことを、すでに宣言しております。来年の7月には少し緩和された改正案を導入するそうです。市民権を取得されたい方は、今のうちの申請が必要ですね。

キャンベラ万歳！

10月は、ダットン移民相以外にも首都のキャンベラに衝撃が走りました。それは、世界的な旅行ガイドとして有名な「ロンリー・プラネット」が、シドニーでもメルボルンでもなく、そしてゴールドコーストでも、グレートバリアリーフでもなく、オーストラリア首都のキャンベラを「世界で訪ねるべき都市ベスト10」の3位に選出したのでした。キャンベラといえば、オーストラリアの首都であることを知らない人も、数多くいるという正に知る人ぞ知る都市です。オーストラリア人の大半は、何もすることがない、国会議事堂だけがある都市だというイメージが強いのですが、そこはさすがに世界で最も有名な観光ガイド書です。キャンベラの街の整然とした街並み、思わず入ってみたいようなカフェやレストランの数々等、こうした様々な理由からキャンベラが訪れるべき街の第3位に選ばれたということです。おそらく、一番驚いたのはキャンベラさん(?)自身ではないでしょうか。

11月

「イエス」

11月の一番大きな話題は同性結婚に関する国民投票の結果、過半数の賛成により同性結婚が法制化する方向に向かったということではないでしょうか。

他の先進国では、すでに同性結婚を認めている国が多いと言われています。そのため、オーストラリアは文化的に遅れているという批判を受けながら、今回国民による郵便投票が行われ、そしてその結果同性結婚を認めるべきという声が過半数を占め、後にオーストラリアにおいても同性結婚を認める法制化の運びとなる予定ということです。

早ければ、年内中には同性同士の結婚を認める法律が可決されます。

日本でも少しずついわゆるLGBT(性的少数者)の方たちへの認識は広まっているようですが、オーストラリアでは、おそらく日本以上に一般的ではないでしょうか。仕事上でも、プライベートでもそうした同性愛者の方たちとは普通に仕事をし、そしていろいろな話をすることが日常茶飯事です。それに対して、こちらでも特別な態度で接することも特にありません。一昔前のオーストラリアでは、おそらくこれほどまでに認知されていなかったのではないかと、ふと思います。

時代が変わるにつれて、人の価値観も変わります。「万物流転」我々も、我々自身の立ち位置を確保するためには、変わりゆく時代に対して様々な調整をしていかなければならないということでしょうか。

当事務所も、離婚、親権問題、財産分与を専門的に扱うファミリーロー部門をはじめました。なぜかって、これから結婚する人の数が増えれば、それに伴い離婚数も。。。(少し、事務所の宣伝でした。)

まだまだ二重国籍問題

11月に入っても、二重国籍問題がオーストラリア議会を揺るがし続けました。オーストラリアの最高裁判所はオーストラリア国籍以外の国籍を保持している場合には、連邦議会に選出する資格がないことを憲法上、はっきりと示しました。そのため、副総理大臣をはじめ、何人もの連邦議会議員が辞任に追いやられました。ギリギリの過半数における議会運営をしなければなりません。

辞任をした議員たちも、それぞれ空いた議席の補選にそのままチャレンジする人、そのまま政界からの引退をする人など、さまざまです。

国民も、いやそれ以上にターンブル首相自身も、ここまでこの問題が深刻な問題として発展するとは思っていなかったのではないのでしょうか。過去何十年と、このような状態で国会議員が選出され、多重国籍であることが分からずに、政界からすでに去っていった議員もたくさんいたのではないのでしょうか。今までの、やり方にまさに「喝！」(張本さん風に)が入ったところでしょう。

12月

師走

師(先生)も走ると書いて「師走」。この時期は、年末を迎えて、非常に忙しいと日本ではされています。オーストラリアではどうでしょうか？12月に入ると、皆すでにクリスマスぼけ状態で何も進みません。先生たちは走るところか、夏なのに冬眠状態です。仕事も思うように進まず、とてもイラつきます。

そこで、ストレス解消と健康を考えて、当方ランニングをはじめた。なるほど、これで師走かと。。。

(これは、失礼いたしました。)

クリスマス

やはり、いつまで経っても、暑いクリスマスはピンときませんね。雪ぞりや、七面鳥の丸焼き、トナカイやサンタさんも、正にこの時期に冬を迎えている北半球のものです。こちらのクリスマスは、よく冷えたビールでBBQやシーフード、マンゴーにチェリー、そしてエアコンを利かせた室内から照り返す太陽を見ながら暑い、暑いを繰り返すこととなります。少し味気ない気がしますが、オーストラリア人にとってはこれが最高のクリスマスということです。

子供の教育

今年も家族でオーストラリアにて年越しをする我が家。筆者の妻が子供達に大晦日は何をしたいか尋ねました。オーストラリアでは新年のお祝いよりも、新年を迎えるまでをパーティなどで盛大にお祝いするのが一般的です。ブリスベンやゴールドコーストでは、カウントダウン後に花火が打ち上げられたり、それは盛大です。そのため、妻は子供たちが花火を見に行きたいというような回答を期待していたのですが、子供達は何と「外出するより、お父さんと一緒に大晦日の「笑ってはいけない。。。」をお家のテレビで見たい。」と答えました。

それに対して、妻はおかんむり。筆者はニンマリ。子供の英才教育がうまくいっている(?)証拠です。。。

今月のコピペ

(インターネットより)

JR 大久保駅(兵庫県)から通勤してたんですが、週2日は10時までに舞子に着けば良い時期がありました。朝ゆっくりできるし、電話は空いてて快適でした。ホームへの階段降りてすぐベンチがあり、そこに書類カバン置いて缶コーヒー飲んでると……

「おかあちゃん！ここ座れるで！座りや！」と小学生くらいの男の子。しまったと思い、俺はベンチのカバンをどけました。「ほら二人座れんでー」母親と目が合い、俺は座るとこにカバン置いてたバツの悪さから会釈しました。

「おっちゃん！ここ座るとこやで！モノ置いたらあかんねんで〜」「ごめんな〜ぼうす偉いな〜」「ボクもう三年生やもん」(おい鼻水出てるぞ)親子はそこから二つ目の明石駅で降りて行った。

仲良さそうで、なんだかいいなあって思いました。それからも何度かこの親子と一緒にになりました。

「おっちゃん、また大きいカバン持って……仕事大変やな〜」
タメロ……(´_`)

その度にこのガキとは話をするようになったんですが、「おかあちゃん おかあちゃん」言ってるこいつがまあまあカワイク思っていました。

ところがしばらくこの親子とは会わなくなり、俺もこの遅い出勤がなくなってしまった頃。

その日は日曜に休日出勤になってしまいお昼頃ホームで電車を待っていると、例のガキがその日は父親といました。「今日はおとんとお出掛けか？」「うん！いまからおかあちゃんとこ行くねん」(え？親で別居中？)「おかあちゃん病院おってんけど今日帰ってくんねん」

へえ……こいつが母親を気遣ってたんは通院の付き添いやったからかいいところあるやん。「おっちゃんも仕事頑張れやあ」やっぱタメロ(´ω`)

それから半年くらいたって駅前がクリスマス一色になった頃に再び俺はそのガキに会いました。「今日は一人か？おかんは元気か？」「おかあちゃん死んでもてん……」情けない大人で何も言ってやれないまま同じ電車に乗りました。そんな重い病気やったんや……だからこいつはあんなに気遣って、おかあちゃんおかあちゃんて……この半年めっちゃ悲しい思いしたんやろなあとか考えてたら電車の窓の外見ながら泣けてきました。

俺が降りる駅が近づいてきて「どこまで行くん？ひとりで大丈夫か？」「大丈夫や！」「ボクもう三年生やもん」(今日は俺が鼻水出してた)

「あなたのために少しでも美しくなりたいと思って」
富豪は感激した。

日本人女性は、そのお金を貯金して、一日中、家事や掃除を黙々とこなしていた。日本人女性は深々と頭を下げてこういった。

「お金はあなたのためにとっておいてあります。身の回りのことは私が全てして差し上げます」

富豪は感激した。

アメリカ人女性は、そのお金を投資に回し、1万ドルを倍の2万ドルにした。アメリカ女性は誇らしげに言った。

「お金を倍にしておきました。これで素晴らしい結婚生活を営むことができます」

富豪は感激した。

さて、富豪はゆっくりと考えこみ、そして結論を出した。彼は三人の中で最も胸が大きい女性と結婚したのである。

今月の雑学

(雑学集より)

同性婚が合法化された12月ということで、虹にまつわる雑学をご紹介します。

虹はさまざまな色を含むが、太陽の白色光から分かれたものであり、各色の間に明確な境界を引くことができないことから「多様性」「共存」の象徴ともされており、性の多様性と共存という意味合いからLGBTの象徴としても用いられる。

虹の色は、赤橙黄緑青藍紫で、一番外側が『赤』、一番内側が『紫』はどんな時でも並びは確定で、一番上が「赤(赤外線)」、一番下が「紫(紫外線)」

仕事納め

今年の仕事納めは22日にさせていただきます。本年中は、皆さまには大変お世話になりました。今年は事務所名改名並びに新しい部署の開設等、非常に目まぐるしい年となりました。また、来年も今年以上にパワーアップして皆さまのお役に立てればと思いますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。



Go Australia Group

ゴールドコースト事務所

Suite 222, Level 2, Watermark Hotel & Spa
3032 Surfers Paradise Blvd, Surfers Paradise QLD 4217

ブリスベン事務所

Level 5, 262 Adelaide St, Brisbane QLD 4000

E: info@goaustralia-visa.com

<電話でのお問合せ>

オーストラリアから: 07-5570-4542 (月~金 9:00-17:00)

日本から: 03-4283-8484 (日本時間 月~金 8:00-16:00)

www.goaustralia-visa.com

今月のジョーク 其の弐

(ジョーク集より)

理想の結婚相手

ある富豪の男が、結婚相手を探していた。彼は花嫁候補のフランス人、日本人、アメリカ人の3人にそれぞれ1万ドルずつ渡し、それをどう使うかを見てみることにした。

フランス人女性は、最高級のドレスや宝石、化粧品などを買っていき、美しく着飾った格好でこういった。